

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2020年2月14日

【四半期会計期間】 第2期第3四半期(自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)

【会社名】 株式会社サン・ライフホールディング

【英訳名】 SUN・LIFE HOLDING CO.,LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 比 企 武

【本店の所在の場所】 神奈川県平塚市馬入本町13番11号

【電話番号】 0463(22)1233(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役経営企画部長 佐 野 秀 一

【最寄りの連絡場所】 神奈川県平塚市馬入本町13番11号

【電話番号】 0463(22)1233(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役経営企画部長 佐 野 秀 一

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第1期 第3四半期 連結累計期間	第2期 第3四半期 連結累計期間	第1期
会計期間		自 2018年4月1日 至 2018年12月31日	自 2019年4月1日 至 2019年12月31日	自 2018年4月1日 至 2019年3月31日
売上高	(千円)	9,148,709	8,780,748	12,470,205
経常利益	(千円)	614,833	374,607	1,069,397
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	(千円)	389,778	152,732	537,050
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	360,124	152,156	520,205
純資産額	(千円)	6,466,975	6,208,503	6,627,056
総資産額	(千円)	37,008,087	36,970,121	37,464,455
1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)	60.12	23.72	82.83
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)			
自己資本比率	(%)	17.5	16.8	17.7

回次		第1期 第3四半期 連結会計期間	第2期 第3四半期 連結会計期間
会計期間		自 2018年10月1日 至 2018年12月31日	自 2019年10月1日 至 2019年12月31日
1株当たり四半期純損失金額 ()	(円)	3.83	1.08

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

4. 第1期第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表及び第1期の連結財務諸表は、単独株式移転により完全子会社となった株式会社サン・ライフの四半期連結財務諸表及び連結財務諸表を引き継いで作成しております。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。

また、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社が判断したものであります。

(1) 財政状態及び経営成績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善を背景に緩やかな景気回復基調が続く一方、消費税増税、米中貿易摩擦等の影響などもあり、先行き不透明な状況で推移いたしました。

また、経済産業省「特定サービス産業動態調査」（サンプル調査、速報）によりますと、2019年4～12月の結婚式場業の取扱件数は前年同期比1.4%減の61,429件、売上高は前年同期比1.2%減の174,875百万円となっております。一方、葬儀業の同期間の取扱件数は前年同期比2.2%増の324,530件、売上高は前年同期比0.9%増の441,936百万円となっております。

このような状況下におきまして、当社グループの売上高は前年同四半期比4.0%減の8,780百万円、営業利益は、前年同四半期比44.3%減の303百万円、経常利益は前年同四半期比39.1%減の374百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同四半期に組織再編によりスケジューリングが可能となった将来減算一時差異に係る繰延税金資産を計上したこと等により、当第3四半期連結累計期間の法人税等合計が前年同四半期比で増加し、前年同四半期比60.8%減の152百万円となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

ホテル事業（ホテル・ブライダル事業）

ホテル事業は、地域企業への渉外活動を強化した結果、ご宴会、ご宿泊の売上高は好調に推移しました。ご婚礼については、ご婚礼プランやフェアの開発、サービス品質の向上及びWEB・SNSでの情報発信を強化しました。活動の結果、フォトウェディング組数は増加したものの、期中の効果は当初予定を下回り、全体のご婚礼施行組数は減少しました。そのため売上高は前年同四半期比23.6%減の1,278百万円、営業損失は207百万円（前年同四半期は63百万円の営業損失）となりました。

式典事業（葬祭・法要事業）

式典事業は、生前相談会、施設見学会・フェスタ・周年祭開催等、お客様とのコミュニケーションを深めると共に、ご葬儀のご相談窓口をWEB、映像など多様化することでお客様の利便性を高めております。また、想いの聞き取りや感動提案をさせていただくことにより、ご葬儀品質を高める取り組みを推進しております。2019年4月には家族葬対応施設「サン・ライフ ファミリーホール橋本」（神奈川県相模原市緑区）、2019年6月には小規模葬対応施設「セレイ工厚木」（神奈川県厚木市）を開設しました。ご葬儀件数は主要斎場のリニューアル工事の影響などにより減少し、ご葬儀1件あたりの売上高はご葬儀の小規模化の影響により減少したため、売上高は前年同四半期比2.3%減の6,117百万円、営業利益は前年同四半期比10.2%減の1,254百万円となりました。

介護事業（介護事業・有料老人ホーム事業）

介護事業では、介護サービスご利用者の増加とサービス向上に努めてまいりました。2019年10月よりデイサービス、ショートステイを中心とする「エミーズ鴨宮」（神奈川県小田原市）、「エミーズ東間門」（静岡県沼津市）、「エミーズ原」（静岡県沼津市）がグループに加わり、売上高は前年同四半期比14.9%増の1,148百万円、営業利益は前年同四半期比91.9%減の2百万円となりました。

その他事業（少額短期保険他）

その他の事業は、少額短期保険収入の増加等もあり、売上高は前年同四半期比9.8%増の236百万円となりましたが、保険料の支払により営業費用が増加した結果、営業利益は前年同四半期比7.8%減の56百万円となりました。

財政状態に関する状況については、次のとおりであります。

資産

資産合計は36,970百万円（前連結会計年度末比1.3%減）となりました。

流動資産は12,397百万円（前連結会計年度末比6.4%減）となりました。これは、現金及び預金の減少等が主たる要因であります。

固定資産は24,572百万円（前連結会計年度末比1.4%増）となりました。これは、土地及び建物等の取得による有形固定資産の増加、のれん及びその他無形固定資産の増加等が主たる要因であります。

負債

負債合計は30,761百万円（前連結会計年度末比0.2%減）となりました。

流動負債は1,944百万円（前連結会計年度末比2.9%減）となりました。これは、買掛金及び引当金の減少等が主たる要因であります。

固定負債は28,817百万円（前連結会計年度末比0.1%減）となりました。

純資産

純資産合計は6,208百万円（前連結会計年度末比6.3%減）となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益152百万円の計上と配当金の支払226百万円により、利益剰余金が74百万円減少したことによるものです。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループの事実上及び財政上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(3) 研究開発活動

該当事項はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当社は、2019年11月22日開催の取締役会において、当社の連結子会社である株式会社サン・ライフが高尾山観光開発株式会社の全株式を取得し子会社化することを決議しました。これに伴い株式譲渡契約を締結し、2020年2月3日付で全株式を取得しました。

詳細は、「第4 経理の状況 1 四半期連結財務諸表 注記事項」の（重要な後発事象）をご参照ください。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	27,280,000
計	27,280,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間 末現在発行数(株) (2019年12月31日)	提出日現在 発行数(株) (2020年2月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	6,820,000	6,820,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数100株
計	6,820,000	6,820,000		

(2) 【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2019年12月31日	-	6,820,000	-	100,000	-	-

(5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（2019年9月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2019年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 336,800		
完全議決権株式(その他)	普通株式 6,482,300	64,823	
単元未満株式	普通株式 900		
発行済株式総数	6,820,000		
総株主の議決権		64,823	

(注) 1. 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が800株(議決権8個)含まれております。

2. 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式が44株含まれております。

3. 当第3四半期会計期間において自己株式の取得を行ったため、2019年12月31日現在の完全議決権株式(自己株式等)は696,800株、単元未満株式に含まれる自己株式は44株となっております。

【自己株式等】

2019年12月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社サン・ライフ ホールディング	神奈川県平塚市馬入本町13 番11号	336,800		336,800	4.94
計		336,800		336,800	4.94

(注) 当第3四半期会計期間において、自己株式の取得を行ったため、2019年12月31日現在の自己株式は696,800株となっております。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(2019年10月1日から2019年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,688,082	10,782,992
売掛金	484,233	597,000
有価証券	210	210
商品	43,833	39,795
原材料及び貯蔵品	66,288	67,144
預け金	536,975	543,328
その他	420,648	367,907
貸倒引当金	1,928	824
流動資産合計	13,238,343	12,397,554
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,894,781	7,104,635
土地	7,852,185	8,088,237
その他(純額)	823,044	529,128
有形固定資産合計	15,570,011	15,722,000
無形固定資産		
のれん	326,681	382,067
その他	377,970	465,030
無形固定資産合計	704,652	847,097
投資その他の資産		
投資有価証券	2,705,456	2,642,644
供託金	1,098,965	1,110,465
その他	4,177,268	4,282,638
貸倒引当金	30,241	32,279
投資その他の資産合計	7,951,447	8,003,468
固定資産合計	24,226,111	24,572,567
資産合計	37,464,455	36,970,121
負債の部		
流動負債		
買掛金	636,735	592,608
未払金	359,622	403,142
未払法人税等	136,280	138,751
引当金	138,130	84,545
その他	732,150	725,221
流動負債合計	2,002,918	1,944,268
固定負債		
前払式特定取引前受金	26,871,067	26,891,086
引当金	57,747	54,613
退職給付に係る負債	100,384	109,989
その他	1,805,279	1,761,660
固定負債合計	28,834,479	28,817,349
負債合計	30,837,398	30,761,618

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	761,914	761,914
利益剰余金	6,038,876	5,964,699
自己株式	341,896	685,696
株主資本合計	6,558,895	6,140,917
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	66,994	66,395
その他の包括利益累計額合計	66,994	66,395
非支配株主持分	1,167	1,190
純資産合計	6,627,056	6,208,503
負債純資産合計	37,464,455	36,970,121

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	9,148,709	8,780,748
売上原価	6,997,909	6,973,681
売上総利益	2,150,799	1,807,066
販売費及び一般管理費	1,606,329	1,503,933
営業利益	544,470	303,132
営業外収益		
受取利息	8,219	9,553
受取配当金	12,605	13,072
前受金月掛中断収入	19,186	19,418
不動産賃貸収入	19,849	18,314
その他	38,348	43,802
営業外収益合計	98,210	104,160
営業外費用		
不動産賃貸費用	7,407	8,745
前受金復活損失引当金繰入額	17,435	23,940
その他	3,004	0
営業外費用合計	27,847	32,685
経常利益	614,833	374,607
特別利益		
投資有価証券売却益	-	20,790
受取保険金	-	17,328
損害賠償金収入	2,167	-
特別利益合計	2,167	38,118
特別損失		
固定資産除売却損	43,048	40,245
投資有価証券評価損	88,470	-
特別損失合計	131,518	40,245
税金等調整前四半期純利益	485,481	372,480
法人税、住民税及び事業税	89,337	251,204
法人税等調整額	6,456	31,479
法人税等合計	95,793	219,724
四半期純利益	389,687	152,755
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失()	90	22
親会社株主に帰属する四半期純利益	389,778	152,732

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	389,687	152,755
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	29,563	598
その他の包括利益合計	29,563	598
四半期包括利益	360,124	152,156
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	360,215	152,133
非支配株主に係る四半期包括利益	90	22

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
減価償却費	434,582千円	445,343千円
のれんの償却額	31,523千円	29,514千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 配当金支払額

当社は、2018年10月1日に単独株式移転により設立した完全親会社であるため、配当金の支払額は完全子会社である株式会社サン・ライフにおいて決議された金額であります。

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2018年6月25日 定時株主総会	普通株式 (株式会社 サン・ライフ)	利益剰余金	103,730	16	2018年3月31日	2018年6月26日
2018年11月9日 取締役会	普通株式 (株式会社 サン・ライフ)	利益剰余金	103,730	16	2018年9月30日	2018年11月30日

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

当社は、2018年10月1日付で株式会社サン・ライフによる単独株式移転により設立されました。

この結果、当第3四半期連結会計期間末において、資本金が100,000千円、その他資本剰余金が761,914千円、利益剰余金が5,891,605千円、自己株式が341,896千円となっております。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2019年6月24日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	123,179	19	2019年3月31日	2019年6月25日
2019年11月8日 取締役会	普通株式	利益剰余金	103,730	16	2019年9月30日	2019年11月29日

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

当社は、2019年11月22日開催の取締役会決議に基づき、自己株式360,000株の取得を行いました。

この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が343,800千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が685,696千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ホテル事業	式典事業	介護事業	計				
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	1,673,031	6,260,635	1,000,035	8,933,702	215,006	9,148,709		9,148,709
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	168,389	129	229	168,748	20,283	189,031	189,031	
計	1,841,421	6,260,765	1,000,265	9,102,451	235,289	9,337,740	189,031	9,148,709
セグメント利益又は 損失()	63,510	1,396,647	32,522	1,365,659	61,389	1,427,049	882,578	544,470

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ファイナンシャル・サポート・サービス、少額短期保険業他が含まれております。

2 セグメント利益の調整額 882,578千円には、セグメント間取引消去47,955千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 930,533千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

介護事業において、事業譲受によるのれんを計上しております。当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては、151,293千円であります。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ホテル事業	式典事業	介護事業	計				
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	1,278,320	6,117,513	1,148,794	8,544,628	236,119	8,780,748		8,780,748
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	174,961	103	526	175,590	3,043	178,634	178,634	
計	1,453,282	6,117,616	1,149,321	8,720,219	239,163	8,959,382	178,634	8,780,748
セグメント利益又は 損失()	207,961	1,254,665	2,628	1,049,332	56,586	1,105,918	802,785	303,132

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ファイナンシャル・サポート・サービス、少額短期保険業他が含まれております。

2 セグメント利益の調整額 802,785千円には、セグメント間取引消去39,176千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 841,962千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

介護事業において、事業譲受によるのれんを計上しております。当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては、80,267千円であります。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額	60円12銭	23円72銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	389,778	152,732
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	389,778	152,732
普通株式の期中平均株式数(株)	6,483,156	6,437,338

- (注) 1 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
- 2 前第3四半期連結累計期間における普通株式の期中平均株式数は、2018年4月1日から2018年9月30日までの期間については、株式会社サン・ライフの期中平均株式数を用いて算出し、2018年10月1日から2018年12月31日までの期間については、当社の期中平均株式数を用いて算出しております。

(重要な後発事象)

取得による企業結合

当社の連結子会社である株式会社サン・ライフ（以下、「サン・ライフ」）は、高尾山観光開発株式会社（以下、「高尾山KK」）の全株式を取得し子会社化することについて、2019年11月22日開催の取締役会において決議し、株式譲渡契約を締結後、2020年2月3日に全株式を取得しました。

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及び事業の概要

被取得企業の名称 高尾山開発観光株式会社
事業の内容 霊園の管理・運営、霊園の墓所造成

(2) 企業結合を行った主な理由

当社は、当社グループの主力事業のひとつとして冠婚葬祭互助会事業を営んでおりますが、東京霊園を管理・運営する高尾山KKの事業とは親和性が高く、当社連結子会社のサン・ライフが施行するご葬儀の延長として霊園への埋葬を組み込むことで、一貫した質の高いグリーフ（癒し）ワークの実現が可能になると考えています。

また、東京霊園は、1964年の開園以来、宗教不問の高級公園墓所として高いブランド力を維持しており、八王子地区を中心に優良なご契約者基盤を確立しております。一方、当社グループは、主に神奈川県湘南・県央地区、並びに八王子を中心とする西東京地区において冠婚葬祭互助会会員様向け中心に地域密着型トータルライフサポートサービスを提供しております。

このうち、西東京地区は、東京霊園ご契約者様の地域分布とほぼ重なり、東京霊園ご契約者様に対しても当社グループの各種サービスを提供することが可能となり、当社グループの既存事業と霊園事業のシナジー効果によるビジネスチャンスの拡大につながるものと考えています。

(3) 企業結合日

2020年2月3日

(4) 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

(5) 結合後企業の名称

変更はありません。

(6) 取得した議決権比率

100%

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社の連結子会社であるサン・ライフが被取得企業の議決権の100%を取得したことによるものです。

2. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	1,382百万円
取得原価		1,382百万円

3. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

現時点では確定しておりません。

4. 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

現時点では確定しておりません。

2 【その他】

第2期(2019年4月1日から2020年3月31日まで)中間配当について、2019年11月8日開催の取締役会において、2019年9月30日現在の株主名簿に記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額	103,730千円
1株当たりの金額	16円00銭
支払請求権の効力発生日及び支払開始日	2019年11月29日

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年2月14日

株式会社サン・ライフホールディング
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 齋藤 慶典 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 平井 清 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社サン・ライフホールディングの2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（2019年10月1日から2019年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社サン・ライフホールディング及び連結子会社の2019年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。